

アムス校友会通信

発行：アムス柔道整復師養成学院 校友会

Vol. **4**
2010. 12

目次

ご挨拶……………	1	開業情報掲載しませんか? ……	4
特別講演会を開催します……………	1	1～3月の校友会勉強会について……………	4
恒例の新年互礼会も……………	1	何かありましたら、応援団にご相談を! ……	4
イベント報告～茶話会を実施しました……………	2	次回の広報誌発行は……	4
ハイキング～歩きました～山の辺の道……………	3		

ご挨拶

校友会通信発行開始から1年を迎えることができました。今の時代、メールにて情報をサッと配信できる時代でもありますし、HPでもいつでもダウンロードできるようにしていますが、それぞれの環境の違いもありますので、一概にメールで送ればいいという訳でもなく、やはり「ベタ」ではありますが、これからも紙で形にして皆さんのお手元にお送りしたいと思います。

今回は2・3ページ目でイベントのレポートがありますが、「広報委員からのレポート」という形でそれぞれの委員さんの視点から書かれたものをお送りします。これからも「沢山の卒業生・在校生が作り上げていく校友会」が少しずつ出来上がっている様子を皆さんの目にも映るよう頑張っていきます。もし役員活動に興味のある卒業生・在校生の方がいらっしやれば、誰でもウェルカムです。学院内事務局までご連絡ください。お待ちしております。 校友会事務局 豊田

特別講演会を開催します

平成23年1月16日（日）、学院6階にて特別講演会を開催します。

今年の講演テーマは「これからの柔道整復師について」

有資格者も年間5,000名以上増え続け、整骨院もあらゆる場所にできている中、社会情勢的にも柔道整復師を取り巻く環境は年々厳しくなっています。私たちは自分たちの業権(資格に認められた権利)を守るため、これからどのような点に気をつけて業務にあたるべきか、今日までの法的な解釈も踏まえながら、実務的にクリアしなければならないことを中心に業界の方向性についてみんなで考えていきたいと思います。

これからの整骨院の運営の中で、またこれから開業しようとしてされている方にも有益な情報となるよう準備しています。皆様の一人でも多いご参加をお待ちしています。

恒例の新年互礼会も

特別講演会のあとは、恒例の新年互礼会を開催いたします。

今年は初の試みとして学院近くのホテルを会場にして執り行います。なかなか普段会えない卒業生同士、また在校生との交流を深めるいい機会です。

新年互礼会の名物イベント「ピンゴ大会」ももちろん(?)実施します。今年はHD・地デジチューナーつきDVDレコーダーを筆頭に、魅惑の景品を取り揃えてお待ちしております。

お友達の卒業生もお誘いの上、ご参加ください。

イベント報告

茶話会を実施しました

10月23日土曜日、初の試みとなる校友会主催の茶話会が催され、これからの柔整業界への期待や不安、学校生活における在校生の様々な疑問を卒業生に直接聞いたり、相談したりする機会が持たれました。

普段ならバーベキュー等のお酒の入った席でうやむやになりがちなことも、お茶とケーキで素面のまんまで卒業生が白熱していたのが、とても印象に残っていますが、今回はその中でも印象に残っていることをお伝えできればと思います。

私が印象に残った話題は「仕事について」です。

柔整業界にこれから入るとき、皆さんなら当然整骨院で働き少しでも知識や技術を身につけておくべきだろう！とお考えの方も多いのではないのでしょうか？

しかし、私が話した方の中には別の職種の仕事をされている方もいらっしゃいました。

先生方の話もヒートしていた中で、その方の意見は否定的に捉えられているようにもみえました。

今回、参加された卒業生の先生方のほとんどが以前に他の業界で働かれていたので、学院に入学した頃、少しでも業界のことを知るべく整骨院で勤務されていたのも、その話の流れの要因の一つだったのかもしれません。実際に隣に座られていた方も整骨院での勤務をされていたようですし、整骨院に勤務することは私自身も大賛成ですが、それが最善といえるかどうか、それが話題の中心になっていきました。

私は一年間、国家試験を浪人していました。その間に考えたのが「これからは逃げ場などなく、一生柔道整復師として責任を持って働くことになる」ということです。確かに、この仕事を選んだその時から、柔道整復師の世界について、一つでも知識や情報を身につけて環境に慣れることはとても大事です。しかし、「本当にそれだけが大事なの？」ということが私が在校生と話をしている自分の中に出てきた想いです。

今やっていることは柔道整復師にとって何の意味もなさない、その時間は無駄だ、という批判的な話は私が浪人中、身内から嫌というほど聞かされていました。その時の反抗心からか「そんなことはない。見方を変えれば無駄のように見えることにも必ず意味がある」と思うようになったのです。

そのためには、モノの見方を変える自分自身が必要であることに、わずかながら私は気づくことができました。調理場にしたことも、引越し屋になったことも、段ボールの製造に携わったことも倉庫の中でレンタル屋をしていたことも、荷物の配達、検品作業すべて今は、私が仕事をするうえで十分役に立っています。なぜなら、患者さんは柔道整復師ではないからです。

私がほんの少しでも経験したことのある仕事ならその患者さんの痛みや仕事の大変さを共感し分かち合うことが少しでもできるからです。

私のように高校を卒業しストレートにこの道を選んだ人でこれほどの仕事の種類に就いた人はそうそういないでしょう。そ



れだけではありますが、今、そのことは自分が誇れることの一つです。

だから、柔道整復師以外の仕事でも、誇りをもって取り組んでくださるようお願いをし、どんな仕事であっても不利に思わないでいただきたいということをその場で話させていただきました。

他にも私とともに浪人生活を共に過ごした卒業生の方がいらっやっで、浪人したことでつらかったという話も出たりしました。是非一度の受験で合格できるようにしっかりこのアムスで学んで欲しい…。そして、そのために学院や校友会を大いに活用していただきたいということは、その卒業生や私だけでなく、その場の先生全員が思っておられることであり、願いだっただけに違いありません。

そんな、熱い卒業生が開催した茶話会はあっという間にお開きの時間を迎え、「まだまだ足りない！」という声もいただきながら終了しました。

私はまだ、柔道整復師としての経験も浅いので、これから学ぶべきことがたくさんあると思います。

そして、今の私があるのは、アムスに入学して大きな期待と希望を胸に抱きながら過ごした日々があったことを参加していただいた在校生の皆さんに接して思い出させていただきました。

さらに、改めて「初心」そのことの大切さ、自分はどうしてこの世界に飛び込んだのか、ということをもう一度考える大事な日となりました。

多くの方々と触れ合う機会を持てたことを大変うれしく、また光栄に思います。ありがとうございました。

広報委員 岡村



ハイキング～歩きました～山の辺の道

11月21日日曜日は校友会秋のハイキングに奈良県の山の辺の道（桜井市～天理市）へ行ってきました。

在校生の方の参加が少なかったのは残念でしたが、絶好のハイキング日和となり10人以上の役員が参加し、常に同じメンバーとばかりで行動や会話をしてしまうようなことがなく、全員が交流できたように思います。

まだまだ広報の一員としては十分な活動ができてないですけど、とりあえずどんどん集まりに参加して先輩方や在校生の方と話して自分のできることをひとつずつ増やしていこうと思います。道中いろいろな場所で写真を撮り、パワースポットらしき場所からもエネルギーをわけていただき、運動不足の自分としては17キロという距離を最後まで歩けるのか不安ではありましたが、なんとか頑張って歩くことができました！僕にとっては皆さんと過ごせた17キロという距離と半日間の何よりのパワースポットでした。ありがとうございます。

広報委員 杉山



開業情報掲載しませんか？

校友会ホームページにて「OB開業情報」の掲載が始まりました。現在何らかの形で院長先生から掲載許可いただいた40数件を掲載しています。

もっと多くの情報を掲載して、関西を中心に日本中のいろいろな場所でアムス卒業生が頑張っていることをホームページを訪れた方に知っていただきたいと思います。

まだ掲載されていない院長先生で、掲載をご希望される方は下記のメールアドレスもしくは校友会携帯(070-5502-3953)までご一報お願いします。

また、校友会ブログ(<http://ams-koyukai.seesaa.net>)にて卒業生インタビューを始めました。その内容はHPにも掲載していく予定です。こちらをご覧ください。

1～3月の校友会勉強会について

1月から松矢先生の「手技療法講座」がスタートします。今年は半年ごとに「上半身」「下半身」に分けての開催となります。昨年度は「座学」と「実技」の講座を分けて開催しましたが、今回の講座は双方織り交ぜての講座となります。

また単発で応援団の日本システムクリエイト 板垣氏のレセプト講座、卒業生1期生吉本先生、7期生福井先生の人材育成セミナーも開催いたします。

詳細は別紙資料を参照ください。

何かありましたら、応援団にご相談を！

開業を考えていらっしゃる卒業生の方、既に開業されている方の中にも、財務関連や労務管理での問題を抱えていらっしゃる方、医療機器や事務用品の調達、看板の改装など普段の業務の中で、ちょっとしたアドバイスをもらえる人がいれば…と感じていらっしゃる方は意外と多いのでは？

校友会「応援団」はそんな方々のサポートを目的に集まっていたいただいている組織です。

どんな小さな相談でもOKです。ホームページ(<http://www.team-ouendan.com/>)の「問い合わせフォーム」からお願いします。または学院担当 豊田まで。



次回の広報誌発行は…

次回の広報誌 (vol.5) は3月上旬ごろの発送を予定しています。

特別講演会や新年互礼会の実施報告を中心に、平成23年度の活動方針案についてもお報告いたします。